

福祉のまちづくり

発行 福祉社会
編集 山崎田・浅野
責任者 治・浅野
発行者 山崎田・浅野

ボランティアの結果



福西小学校にかつて環境委員会という委員会があり、(今この委員会は有りません。)当時のメンバーの5年生6年生がその当時、缶のプルタブは缶から引きちぎるタイプのものので有ったため、ごみとして捨てられたり、動物が食べたりにして環境のためによくはないということで、北海道の野幌商店街のボランティアの方々と佐川急便さんのご協力でプルタブ回収のネットワークが出来上がりました。

この車いす交換プロジェクトに参加し、プルタブを集めるというボランティア事業を福西在住の渡部英衛さんが、福西小学校と協力して続けてこられました。
結果854kgのプルタブが集まり、この夏、車いす一台が、福西小学校に届けられました。

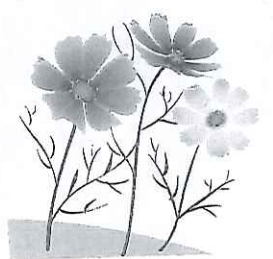
8月24日に車いすが届きました。



渡部英衛様、お見事!!
良く頑張られました。

活動理念

1. 安全・安心交流のあるまちをめざそう
2. 住民同士が支えあい、助け合うまちをめざそう
3. 高齢者や障害者にとって住みよいまちをめざそう
4. 子どもを健やかに育み、支援するまちをめざそう
5. 明日を支えるボランティアの多いまちをめざそう



暮らしの支援

ブルーキャップ

ご存知ですか?

洛西福西学区で、介護保険制度では対象にならない、家事援助などの支援活動をしています。

現在、植木の(低木)剪定、庭の草取り、ガラス拭き、部屋掃除、電球の交換、お買いもの、通院時のお手伝い。墓参りの同行、大型ごみ搬出等、数々の実績を持っていますので、安心してお声をかけて下さい。

私たちスタッフは利用者様からの「ありがとう」の一言、笑顔を見ると嬉しくやり甲斐を感じます。

オ おげんきですか。
ア ありがとう。
シ 失礼しました。
ス すみません。

このオアシス文字をモットーに信頼され、お手伝い出来る事をお待ちしています。お困りごとがあれば、お問い合わせ頂ければ丁寧にお答え致します。

スタッフ一同 代表 藤原是明

ブルーキャップの連絡先は

毎週金曜日ふれあい喫茶福西会館

TEL3331-0865

他曜日は、

藤原 090-11138-7314

田岡 332-2306

9月15日京都新聞に地域住民による有償ボランティア団体、ブルーキャップの活動が紹介されていました。ちよつと困った時お電話されてみませんか?

布団丸洗い乾燥サービスを終えて

今年は8月4日、5日に行われました。朝8時に集合して各家をまわり、丸洗い乾燥をして夕方に届けるという流れです。

我々は朝の回収を手伝いました。総数は布団五〇枚、毛布W六枚、シングル四十一枚でしたが、実際は毛布のWとシングルの違いがかなりあったのと取扱い以外のカーペット等もありました。特にシングルとWの違いは申込書に書いて置いたら良いかと思われました。

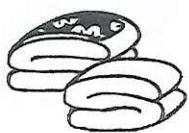
申し込み日から実施日までの間2週間ほどありましたので、何軒かは前日に確認の電話をしておきました。その結果作業も早く進んだと思われ

ます。
この係りを引き受けた時はどのような事をするのか不安でしたが、申込書の配布、集金、そして布団の回収皆様のご協力でもうまく終わる事ができました。

ありがとうございました。

南二丁目 木村様

今年も多くの方にご利用いただきました



健康すこやか学級

牛乳パックで小箱製作

日時 6月11日 (木)



福西小学校にて十時より。

高齢者サポート沓掛センターの藤

田裕一氏がご参加。

・すこやか体操 (テーマソング)

・肩たたき・手首指先ストレッチ

・六月の誕生日は「吉川様」に。

長生きさせていただき、ありがとうございます。と一言。

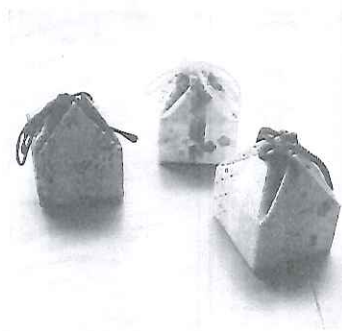
・ハンドベル…土屋様の指導。

初夏の歌中心に (チヨウチヨウ・

富士山・デンデンムシ) 等々、その

他六曲を…。

出来上がりの作品です



「小箱作り」…牛乳パック底部分

① 切り口の先端部分四面を折る。

② 色紙一枚を四つ切り、二枚必要。

③ 接着剤で好みに貼りつける。

④ 厚めの白紙で底貼りをする。

⑤ 対面二か所に穴をあける。

⑥ この穴に飾り紐を通しむすぶ。

感想…一番の難所は…針に紐を通す事。スタッフに助けられ、やっと美しく出来上がりました。互いに見比べあい、会話がはずみとっても嬉しそう。この教室は毎回楽しみにして来ております。皆様有難うございました。と小箱を手につこり。この小箱は敬老のつどいの日にプレールームに展示されました。

第14回

福西ふれあいまつり



8月8日福西センターにて

福西自治連合会主催の夏祭りが開催されました。社協は今年もたこ焼きを担当しました。今回も写真で紹介いたします。



第34回

福西敬老のつどい

9月21日月曜日敬老のつどいが福西小学校体育館にて開催されました。第一部は、11時半からにもかかわらず、早くからたくさんの方にお越し頂きました。高齢の方への花束や記念品の贈呈で式典を終えました。

第二部は西陵中学の吹奏楽の演奏が始まり、はなやかなフラダンス、詩吟や舞踊、永年福西社協の活動のお手伝いをされていた方の長崎体験談、長崎の鐘の歌唱等々、盛りだくさんで、抽選会を最後に家路につかれました。今年はしのぎ易い気候で無事会を終える事が出来ました。



たけのこ会の輪なげです

編集後記

今回は読み易いよう文字を大きくしました。

昔は(地震、雷、火事、おやじ)が怖いもののたとえでしたが、近年一変して、各地で「異常気象」が多発し、特に今年はそれをはるかに超え(火山噴火、突風竜巻、豪雨…)それらが怖いものの定番となりました。天災は人も家も街も濁流に飲み込まれ最大級の被害になって居ます。気象庁はもっと早く市民への情報を的確に。また我々も今までの感覚とは異なる意識の自覚が必要だと思えます。被害に遭うのは高齢者、障害者と子供達です。

